

事業所名

ステップ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		発達に障がいのあるお子様一人ひとりに合わせた学習と療育の支援を行う。「やればできる」「やったらできた」と自信を持てるよう支援する。							
支援方針		一人ひとりの発達状況には違いがあるので、個々に合わせたプログラムで学習支援を行う。日常生活における自立を促す支援を行う。							
営業時間		平日 長期休暇	11 9	時 0 0	分から 17 15	時 0 0	分まで	送迎実施の有無	○あり なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	本人の発達段階と生活を把握し、日常生活における基本的な生活習慣を形成し、必要な生活リズムを身につけられるよう支援していく。 挨拶やお礼がしっかり言えるよう、伝えられるよう支援していく。 社会や家庭、学校のルールを守ることができるよう繰り返し本人ができる形での定着をはかり支援していく。							
	運動・感覚	日常生活に必要な基本となる動作、姿勢保持や移動能力や施設外での移動や交通機関の利用など社会生活で必要な場面における移動能力の向上のための支援をしていく。							
	認知・行動	一人ひとりの理解できる方法、特性、こだわりを把握し、個々に生活の中で生きづらさや困難が軽減されるよう支援していく。							
	言語 コミュニケーション	本人の伝えたいことが伝えられるよう（表現できるよう）発語の練習だけでなく、表情などからコミュニケーションに必要な基本的な動作を身につけられるよう支援していく。学 校の勉強が遅れている人は少しでも勉強が追いつけるよう、個々に合わせた学習に取り組み支援していく。							
	人間関係 社会性	友達とのやり取りや、遊びを誘ってもらうのを待つのではなく、自分から発信したり相手のことを考えたりして意図をくみ取りながら友達との距離感などを調整していく力を育む。							
家族支援		懇談を行い、個々の家庭が持つ困難なこと、良いことをお伺いしてお子様の支援につなげていく。			移行支援		未就学児から小学校、小学校から中学校、中学から高等学校など、必要に応じた学校訪問を行います。		
地域支援・地域連携		地域の集まりに参加する。			職員の質の向上		地域の連絡会、講習会、研修など、積極的に参加して知識や技術を深めていく		
主な行事等		お楽しみ会、クリスマス会、神社参拝、花見、プール、フィールドアスレチック、クッキング、餅つき、							